

経済社会構造に関する有識者会議へのメモ

伊藤元重

- ・ 当面のマクロ経済について
 - ソブリンリスク（内外）の評価
 - デフレからの脱却の道筋
 - ソブリンリスクが顕在化してきた時の対応策
 - 雇用政策のあるべき姿

- ・ 財政と社会保障に関する中長期的なあるべき姿
 - 10年、20年という少し長期を見ることで、より踏み込んだ改革の論議ができるはず。
 - 国民負担率の水準と、負担や便益の規模感
 - あるべき税の体系
 - 世代間の分配について考える
 - 年金・医療・介護についてより踏み込んだ制度設計
 - ◇ 医療を例にとれば、情報化の活用のための制度設計、混合診療についての議論整理、地域医療機関の再編の方向、医療と介護や社会的入院に関する問題、医療分野での民間企業の関与のあり方など、ミクロレベルではいろいろな課題が挙げられる
 - 社会保障番号や医療情報の電子化などの活用の方向

- ・ 日本の成長戦略と産業構造の姿
 - どの程度の成長が可能なのか、必要なのか
 - ◇ 過去の実績
 - ◇ 生産性拡大に期待できる部分
 - 成長率を高めるために有効な政策とは
 - ◇ 税体系
 - ◇ 規制緩和・規制改革分野
 - ◇ 技術革新、人材育成
 - ◇ 開放政策によるアジア成長の取り込み

- 成長戦略を実現した場合の産業構造の姿の変化
 - ◇ 産業構造はどちらの方向に向かおうとしているのか
 - ◇ 産業の空洞化？それとも日本の産業のグローバル展開の進展？
 - ◇ 地域経済の活性化という視点

- 日本の開放政策
 - 日本のEPA政策の総括
 - ◇ 何を実現したのか、何が反省点なのか
 - 東アジア経済連携、TPPなど、日本に与えられたオプション
 - ◇ グローバルシステムの向かう方向
 - ◇ アジアの中での日本のあるべき姿
 - 農業食料問題をどう考えるのか
 - 開放政策による国内の改革
 - ◇ 人材・雇用（海外人材の活用、国内人材の国際化）
 - ◇ 制度の標準化・国際化（医療、教育、金融、物流・・・）

- エネルギー環境政策
 - 電力供給システムにおける市場メカニズムの積極的活用
 - ◇ 分散的電力システムのあるべき姿（発電、送電・配電、電力小売りの姿）、スマートグリッドの具体的な姿
 - ◇ 電力料金制度の改革
 - 環境政策への市場メカニズムの活用
 - ◇ 計画経済的な環境対応だけでなく、より市場機能を活用へ
 - ◇ 炭素税の可能性
 - ◇ 排出権取引の可能性とあるべき姿
 - ◇ 技術革新を誘発する環境政策とは